

農業後継者育成基金事業

令和3年度農高就農促進対策助成事業

事業主体名 鹿児島県立徳之島高等学校

1 目的

本校生物生産系列を選択する生徒は、家業の手伝いなどで農業の経験がある生徒が多いものの、それ以外の農業関連の取組については、知る機会が少ない。そのため、島内外の視察研修等を充実させ、農業に対する視野を広げることにより、徳之島の農業に関わる人材の育成につなげる。

2 実施状況

(1) バナナの定植の実施

徳之島の農業生産物であるバナナの定植を体験した。特産品でもあるバナナの栽培管理法について学ぶとともに、将来、就農した際に、バナナの生産へつなげるための一助とした。



バナナの定植

(2) 営農の門出を励ます会の実施

本年度は、6人の農大進学者を対象に徳之島事務農業普及課や関係町の農政課の方にお越しいただき、実施した。

生徒は、農大進学後に学びたいことや将来の抱負を発表し、来賓の方々から励ましの言葉をいただいた。



営農の門出を励ます会

(3) 講演会

キャリア教育講演会と題して、海外で活躍されている社会人の講演会を実施した。専門のヘアメイクの仕事の話を始め、食べ物、農業に関すること、海外の環境問題への取り組み等の内容は、日本との違いを知る良い機会となった。



講演会

(4) 徳之島コーヒー植え付け体験

徳之島コーヒー生産者会・伊仙町役場・AGFの三者で取り組んでいる徳之島コーヒープロジェクトに本校は、コーヒー苗の生産で関わっている。今回は苗の植え付け体験をさせてもらう機会を設け、将来の徳之島の特産品として期待されるコーヒー栽培の学習を行った。



コーヒー植え付け体験

3 今後の課題、取り組み

本年度は、県立農大畜産学部肉用学科への進学が6人決まり、学校としても大変喜ばしいことであった。来年度も、数名の農大進学希望者がいるので、進学や就農へ向け、生徒にとって有効な取り組みを行っていきたい。